

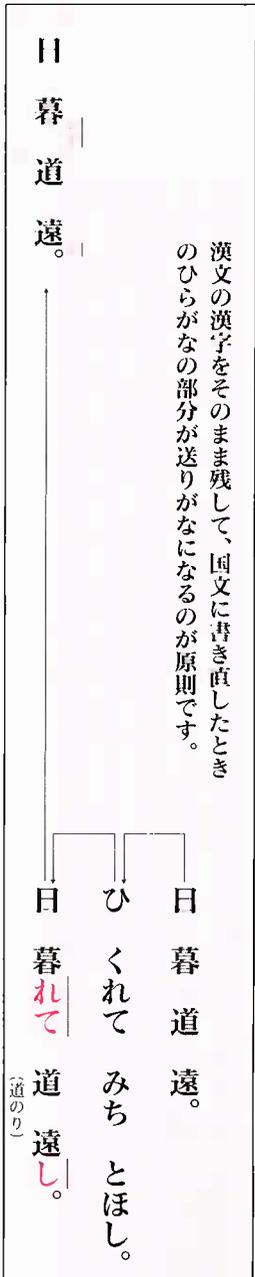
# 目次

1	送りがな	3	9	受身の形	32
2	返り点	4	10	比較と選択の形	34
3	読まない字(置き字)	6	A	単なる比較	34
4	書き下し文	7	B	選択の比較	36
5	文の基本の組み立て	9	11	抑揚の形	38
6	再読文字	14	《総合補習 4》		40
7	否定の形	20	12	疑問と反語の形	42
A	単純な否定	20	A	疑問の終助詞だけの形	43
B	二重否定	22	B	疑問語を中心にした形	43
C	全部否定と部分否定	24	①	「何」のグループ	43
D	特殊な否定	26	②	「安・焉・悪・寧」のグループ	50
8	使役の形	28	③	「孰・誰」のグループ	52
A	単純な否定	20	④	「豈」のグループ	53
B	二重否定	22	《総合補習 5》		56
C	全部否定と部分否定	24	13	感動の形	58
D	特殊な否定	26	14	仮定の形	59
《総合補習 2》		18	《総合補習 6》		61
《総合補習 1》		12	15	漢詩	62
《総合補習 2》		18			

# 1 送りがな

漢文を国文(文語文)に直して読むときに、読みやすくするため、主として用言の活用語尾や助詞などを、漢字の右下に小さくカタカナでつけます。これが送りがなです。送りがなは歴史的かなづかいです。

漢文の漢字をそのまま残して、国文に書き直したとき  
のひらがなの部分が送りがなになるのが原則です。



● 基礎演習 1 ● 下の漢字かなまじり文を参照して、上の漢文に送りがなをつけなさい。

- ① 花 開。 花開く。 ② 天 長 地 久。 天は長く地は久し。

● 基礎演習 2 ● 次のひらがなの文を参照して、漢文に送りがなをつけなさい。④・⑤・⑥のひらがなの文のかなづかいは現代かなづ

かいにあります。

- ① 月 白、風 清。 つきしろく、かぜきよし。  
 ② 孔 子 魯 人。 こうしはろひとなり。  
 ③ 驕 者 亡。 おごるものはほろぶ。  
 ④ 三 戦。 (国名) みたびたたかう。  
 ⑤ 雨 止、夕 陽 出。 あめやみ、(せきよう) いず。  
 ⑥ 風 光 明 媚。 (山水の景色が晴らかて美しい) ふうこうめいびなり。



### 読まない字（置き字）

原則として、読まないで、調子を整えたり、強めたり、また意味を補ったり、接続などの働きをする文字です。

3   而 …	2   于 乎 於	1   焉 矣
折 頸 而 死	名 顯 于 後 世	秦 必 破 矣  有 好 利 焉  出 於 幽 谷 勇
頸を折りて死す。	名後世に顯る。	幽谷より出づ。 恥を知るは勇に近し。
1、文の終わりにきます。 「矣(イ・高(エン))」は読 みません。	2、前置詞のような働きをし ます。 その場合、「於(オ)・于(ウ) ・乎(コ)」は読みません。	3、接続の働きをします。 「而(ジ)」は通常読みません。

秦必ず破れん。  
利を好む有り。

既 竭 其 力 矣。 既に其力を竭せり。

吾 舅 死 於 虎。 吾が舅虎に死す。

樹 欲 静 而 風 不 止。

樹静かならんと欲すれども風止まず。

●基礎演習 ● 漢字かなまじり文を参照して、漢文の中で読まない字の横に線を引きなさい。

- ① 走 乎 東 西。 東西に走る。
- ② 聞 者 感 歎 焉。 聞く者感歎せり。
- ③ 吾 十 有 五 而 志 于 学。 吾十有五(十五歳)にして学に志す。

### 4 書き下し文

「帰郷」を「郷に帰る。」のように、読んだとおりに漢字とひらがななどを併用して書いた文を、書き下し文といいます。

1 漢文の漢字をそのまま残して、送りがなの部分だけをひらがなにします。	2 読まれていない字(置き字)は、書き表しません。	3 国文の「ず・しむ・る・らる・べし・なり・ことし」(助動詞)に当たる漢字や、「は・の・や・か・かな」(助詞)に当たる漢字は、ひらがなに換えて書き表します。	4 再読文字(14ページ)は、はじめの読み部分(副詞)を漢字のまま書き表し、二度目に読む部分(助動詞)をひらがなに換えます。
1 国 破 山 河 在。	2 良 藥 苦 於 口。	3 人 不 学 不 知 道。	4 未 見 牛 羊。
(國) 破(レ) 山(レ) 河(レ) 在(リ)。	(藥) 良(ハ) 藥(ハ) 苦(ニ) 於(シ) 口(ニ)。	(學) 人(ガ) 不(ズ) 学(バ) 不(ズ) 知(ラ) 道(ヲ)。	(見) 未(ダ) 見(ズ) 牛(ヲ) 羊(ヲ)。
国破れて山河在り。	良薬は口に苦し。	人学ばざれば道を知らず。	未だ牛羊を見ず。
	賢哉回也。	賢なるかな回や。	
	(人名) 賢(ナル) 哉(カナ) 回(カイ) 也(ヤ)。		
	(書き下し文) 賢なるかな回や。		